



羽島市民病院スタッフ紹介



患者さまやそのご家族の皆さまは、病院のスタッフにどのような印象をもっているでしょうか。親近感をもっていただき、気軽に話しかけてもらえるよう、スタッフの一面をご紹介します。

がん性疼痛看護認定看護師 岡村 真理子

普段は2病棟4階の外科系総合センターで勤務しながら外来や病棟のがん患者様やそのご家族様と関わらせていただいています。消化器内科センターに勤務している時にがんの患者さんと関わるが多かったのですが、その時に痛みのコントロールができない患者さんやそのご家族への関わりに悩んだことがきっかけでした。「看護師として痛みをもっと楽にしてあげることができないのか」という思いが強くなり認定看護師を目指しました。少しでもがんの患者様、ご家族様のお力になりたいと思っております。些細なことでもかまいませんので、いつでも声をかけてください！

がん性疼痛看護認定看護師とは？

がん患者の痛みの緩和を専門とする看護師です。がんによる痛みは早期から出現する慢性的な痛みで、がんと診断された時点でおよそ20%～50%、進行がんでは80～90%が痛みをもっていると言われていています。がんの痛みを抱える方の苦痛を緩和するために、痛みの治療(鎮痛剤の使い方や副作用対策など)やそれに伴う不安などの相談やアドバイスを行い、痛みを緩和し、患者様、ご家族様が安心して普段の生活が送れるようにサポートします。またがんの痛みは身体的な痛みだけではなく、仕事上の問題・経済的な問題などの精神的な痛みを抱えます。そんな時、主治医や担当看護師と一緒にお話しを伺い、専門的知識を持って身体症状や不安や心配事が緩和できるように支援します。

緩和ケアチームの一員としても活動をしています！

「緩和ケア」とはがんと診断された時から行う身体的、精神的な苦痛を和らげるためのケアです。当院は医師・麻酔科医・薬剤師・がん性疼痛看護認定看護師・理学療法士・リンパ浮腫ドレナージセラピストが協働し、患者様とご家族様の身体や気持ちのつらさを少しでも和らげ、その人らしい人生を送れるように支援を行っています。

